

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成26年2月13日
【四半期会計期間】	第68期第3四半期（自平成25年10月1日至平成25年12月31日）
【会社名】	イサム塗料株式会社
【英訳名】	Isamu Paint Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 古川 雅一
【本店の所在の場所】	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
【電話番号】	(06) 6458 - 0036
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 佐藤 貢
【最寄りの連絡場所】	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
【電話番号】	(06) 6453 - 4511
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 佐藤 貢
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第67期 第3四半期連結 累計期間	第68期 第3四半期連結 累計期間	第67期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高(千円)	6,167,294	6,235,488	8,108,882
経常利益(千円)	909,535	831,480	1,063,880
四半期(当期)純利益(千円)	549,328	638,463	647,722
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	569,601	732,150	724,950
純資産額(千円)	11,623,154	12,197,112	11,695,185
総資産額(千円)	15,527,386	16,121,282	15,563,172
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	54.06	65.85	64.74
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)			
自己資本比率(%)	73.2	73.7	73.1

回次	第67期 第3四半期連結 会計期間	第68期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	18.97	21.66

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策などの効果により円安・株高が進行し、企業収益や個人消費が改善されるなど、緩やかな回復基調となりました。一方では、円安に伴う輸入原材料の価格上昇や海外景気の下振れリスクなども懸念され、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような環境のもと、当社グループは環境対応型塗料や高機能性塗料の充実に注力するとともに、自動車補修用市場でのシェア拡大に取り組みました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては62億35百万円（前年同四半期比1.1%増加）となりました。また、利益面につきましては、営業利益は6億68百万円（前年同四半期比12.5%減少）、経常利益は8億31百万円（前年同四半期比8.6%減少）となり、四半期純利益は6億38百万円（前年同四半期比16.2%増加）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 塗料事業

売上高は61億60百万円（前年同四半期比1.1%増加）、営業利益は6億41百万円（前年同四半期比13.3%減少）であります。

#### その他

売上高は75百万円（前年同四半期比1.0%増加）、営業利益は27百万円（前年同四半期比10.8%増加）であります。

#### (2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、資産は5億58百万円増加、負債は56百万円増加、純資産は5億2百万円増加しました。

資産の増加の主なものは、長期預金17億70百万円、投資有価証券2億85百万円、建設仮勘定2億81百万円、受取手形及び売掛金1億88百万円、減少の主なものは現金及び預金18億23百万円であります。

負債の増加の主なものは、未払金1億62百万円、支払手形及び買掛金1億62百万円、減少の主なものは未払法人税等1億15百万円であります。

また、純資産の増加の主なものは、利益剰余金5億37百万円、減少の主なものは自己株式1億26百万円となっております。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題については、重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、1億7百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	48,000,000
計	48,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数 (株) (平成26年2月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	12,000,000	12,000,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	12,000,000	12,000,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日		12,000,000		1,290,400		1,209,925

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2,154,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,734,000	9,734	-
単元未満株式	普通株式 112,000	-	-
発行済株式総数	12,000,000	-	-
総株主の議決権	-	9,734	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式が386株含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
イサム塗料株式会社	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号	2,154,000		2,154,000	17.95
計	-	2,154,000		2,154,000	17.95

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清稜監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,283,078	2,459,829
受取手形及び売掛金	2,587,395	2,775,093
有価証券	1,810,702	1,800,702
商品及び製品	874,710	957,388
仕掛品	108,220	103,645
原材料及び貯蔵品	194,138	205,170
繰延税金資産	91,294	49,121
その他	101,547	64,214
貸倒引当金	18,874	18,609
流動資産合計	10,032,210	8,396,553
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,410,410	2,408,243
減価償却累計額	1,267,184	1,308,996
建物及び構築物(純額)	1,143,226	1,099,247
機械及び装置	359,090	357,910
減価償却累計額	301,847	309,597
機械及び装置(純額)	57,243	48,313
工具、器具及び備品	349,683	358,371
減価償却累計額	323,933	332,911
工具、器具及び備品(純額)	25,750	25,460
土地	1,344,467	1,344,467
リース資産	13,462	-
減価償却累計額	12,837	-
リース資産(純額)	625	-
建設仮勘定	-	280,593
有形固定資産合計	2,571,311	2,798,080
無形固定資産		
ソフトウェア	82,670	65,979
施設利用権	5,869	5,179
電話加入権	6,310	6,555
リース資産	101,783	67,115
無形固定資産合計	196,632	144,828
投資その他の資産		
投資有価証券	1,612,126	1,896,699
長期預金	200,000	1,970,000
保険積立金	754,961	768,097
繰延税金資産	150,530	110,282
その他	48,791	40,132
貸倒引当金	3,389	3,389
投資その他の資産合計	2,763,019	4,781,821
固定資産合計	5,530,962	7,724,729
資産合計	15,563,172	16,121,282

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	1,696,120	1,857,625
1年内返済予定の長期借入金	52,000	52,000
リース債務	49,260	44,193
未払金	209,259	371,593
未払法人税等	182,415	66,981
未払消費税等	22,233	10,763
前受金	4,921	4,562
預り金	67,291	93,616
賞与引当金	108,880	33,540
その他	40,850	31,959
流動負債合計	2,433,229	2,566,832
<b>固定負債</b>		
長期借入金	397,000	358,000
長期預り保証金	251,190	251,034
リース債務	58,409	26,367
繰延税金負債	-	12,492
退職給付引当金	499,288	483,810
役員退職慰労引当金	106,545	112,116
修繕引当金	37,500	43,125
負ののれん	63,647	54,968
金利スワップ	21,179	15,426
固定負債合計	1,434,758	1,357,338
負債合計	3,867,987	3,924,170
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,290,400	1,290,400
資本剰余金	1,209,925	1,209,925
利益剰余金	9,645,768	10,182,770
自己株式	848,201	974,505
株主資本合計	11,297,892	11,708,590
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	96,197	180,415
繰延ヘッジ損益	13,328	4,699
その他の包括利益累計額合計	82,869	175,716
少数株主持分	314,424	312,806
純資産合計	11,695,185	12,197,112
負債純資産合計	15,563,172	16,121,282



## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	6,167,294	6,235,488
売上原価	3,905,718	4,044,785
売上総利益	2,261,576	2,190,703
販売費及び一般管理費	1,498,203	1,523,062
営業利益	763,373	667,641
営業外収益		
受取利息	4,327	3,870
有価証券利息	8,991	18,412
受取配当金	8,318	9,326
受取賃貸料	42,200	39,884
塗装情報サービス会費	70,599	73,537
生命保険満期差益	3,921	16,677
負ののれん償却額	8,679	8,679
貸倒引当金戻入額	382	965
その他	13,281	8,721
営業外収益合計	160,698	180,071
営業外費用		
支払利息	12,210	11,093
支払補償費	1,975	1,243
為替差損	-	3,458
その他	351	438
営業外費用合計	14,536	16,232
経常利益	909,535	831,480
特別利益		
固定資産売却益	-	1,746
負ののれん発生益	-	111,774
役員退職慰労引当金戻入額	-	999
退職給付引当金戻入額	-	4,475
特別利益合計	-	118,994
特別損失		
会員権評価損	-	2,300
固定資産除却損	1,255	2,488
特別損失合計	1,255	4,788
税金等調整前四半期純利益	908,280	945,686
法人税、住民税及び事業税	327,673	255,501
法人税等調整額	25,531	45,854
法人税等合計	353,204	301,355
少数株主損益調整前四半期純利益	555,076	644,331
少数株主利益	5,748	5,868
四半期純利益	549,328	638,463

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	555,076	644,331
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,474	84,199
繰延ヘッジ損益	2,051	3,620
その他の包括利益合計	14,525	87,819
四半期包括利益	569,601	732,150
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	562,795	724,418
少数株主に係る四半期包括利益	6,806	7,732

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、非連結子会社でありました進勇商事株式会社は、重要性が増したため、新たに連結の範囲に含めております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。

なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	198,958千円	156,086千円
支払手形	- 千円	382千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費も含む。)及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	133,751千円	123,667千円
負ののれん償却額	8,679千円	8,679千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	51,226	5	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金
平成24年11月12日 取締役会	普通株式	51,215	5	平成24年9月30日	平成24年12月10日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	49,233	5	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金
平成25年11月11日 取締役会	普通株式	49,228	5	平成25年9月30日	平成25年12月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント	その他 (千円)	合計 (千円)	調整額 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円)
	塗料事業 (千円)				
売上高					
外部顧客への売上高	6,092,723	74,571	6,167,294	-	6,167,294
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	6,092,723	74,571	6,167,294	-	6,167,294
セグメント利益	739,354	24,019	763,373	-	763,373

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント	その他 (千円)	合計 (千円)	調整額 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円)
	塗料事業 (千円)				
売上高					
外部顧客への売上高	6,160,162	75,326	6,235,488	-	6,235,488
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	6,160,162	75,326	6,235,488	-	6,235,488
セグメント利益	641,030	26,611	667,641	-	667,641

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

( 1 株当たり情報 )

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 ( 自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日 )	当第 3 四半期連結累計期間 ( 自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日 )
1 株当たり四半期純利益金額	54.06 円	65.85 円
( 算定上の基礎 )		
四半期純利益金額 ( 千円 )	549,328	638,463
普通株主に帰属しない金額 ( 千円 )		
普通株式に係る四半期純利益金額 ( 千円 )	549,328	638,463
普通株式の期中平均株式数 ( 株 )	10,161,250	9,695,515

( 注 ) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

( 重要な後発事象 )

該当事項はありません。

2 【その他】

第68期 ( 平成25年 4 月 1 日から平成26年 3 月31日まで ) 中間配当については、平成25年11月11日開催の取締役会において、平成25年 9 月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

中間配当による配当金の総額.....49,228千円  
 1 株当たりの金額..... 5 円  
 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成25年12月10日

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月5日

イサム塗料株式会社

取締役会 御中

### 清稜監査法人

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 田中 伸郎 印

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 加賀谷 剛 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイサム塗料株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イサム塗料株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は四半期報告書提出会社が別途保管しています。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。